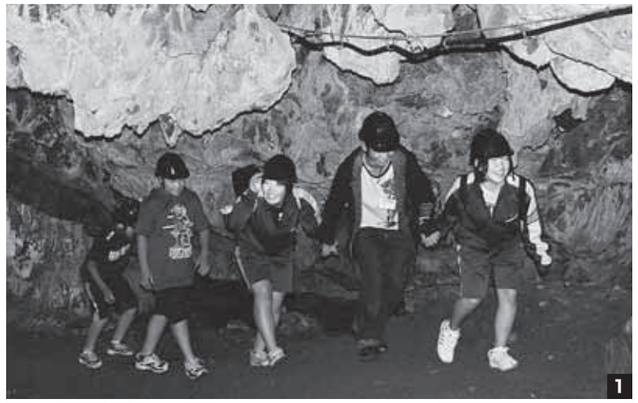
家族で楽しんだ内間木洞

内間木洞まつり、にぎわう



1／年３回だけ！内間木洞一般公開
2／餅まきも盛大に！
3／地域の芸能発表も花を添えました
4／２匹も捕ったよ～
5／よいしょっ！少しでも上へ登るぞ～！

７月８日、山形町小国の内間木洞周辺で、内間木洞まつり（小国自治会主催）が開催され、約1500人の来場者でにぎわいました。会場では、地域の人が作る豆腐田楽などの店が出店したほか、ロープのみで木に登るツリーイング体験や、じゃっこつかみなども行われ、来場者は大人から子どもまでまつりを楽しんでいました。ツリーイングを体験した大畑大輔（おおはただいすけ）くん（山形小１年）は「ツリーイングは初めてです。疲れるけれど楽しいです」とロープと格闘しながら答えてくれました。

また、この日は内間木洞の一般公開も行われ、多くの人が内間木洞に入洞しました。家族と一緒に内間木洞に入洞した小倉夕紀子さん（門前）は、「２回目の入洞です。前回は奥までは見学できませんでしたが、今回はしっかり見ることができました。洞内は肌寒く、途中滑ったりもしましたが、神秘的な光景でした。２月の氷筍もぜひ見に来たいです」と笑顔で話してくれました。

街なか彩る花のバスケット

土風館でつり花籠を作成

６月23日、やませ土風館でハンギングバスケット（つり花籠）作りが行われ、市民ら約30人が参加しました。参加者らは１時間ほどかけてバスケットを完成。色とりどりの花が咲くハンギングバスケットは街なかの街路灯に設置され９月頃まで市民や観光客の目を楽しませてくれます。

丁寧にバスケットを作成する参加者

ゲンカイツツジとエゾムラサキツツジを植樹

ツツジで花と緑の街づくり

街なかイベント広場で植樹

６月17日、エリカシーランドくじ推進協議会（新田貞治会長）は、昨年に続き２回目となるツツジの植樹を行い、同協議会会員ら約50人が参加しました。当日はツツジの苗木80本の植樹と去年植樹したツツジの剪定も実施。花と緑のまちづくりを目指し参加者は爽やかな汗を流しました。

高校生のお姉さんと仲良く協働作業

花いっぱいで心豊かに

長内小でひまわりを植栽

６月27日、長内小学校（小原昭徳校長）の校庭に、児童、地元老人クラブ、久慈東高校（金澤広利校長）の生徒らによりひまわりの苗が植えられました。苗は、久慈東高校の生徒が大切に育てたもの。同小学校の佐藤大知（さとうだいち）くんは「花いっぱいで心豊かになるようお世話します」と話していました。

この記事、僕が書きました！

この記事は７月２日から４日まで、市役所で職場体験をした夏井中学校２年生の久保拓也（くぼたくや）くんが作成しました。

社会に安心安全をー

一日保護司などが市長を訪問

７月３日、「社会を明るくする運動」の啓発のため、久慈地区保護司会と一日保護司の久慈高等学校の生徒３人が市役所を訪れました。この取り組みは、毎年７月を強調月間として、犯罪や非行のない明るい社会を築くための全国的な運動です。

同校生徒の村上健也（けんや）さん（１年）、瀬川桜花（さくら）さん（２年）、金濱晃佑（かねはまこうすけ）さん（３年）が、山内隆文市長に法務大臣のメッセージを伝達。安全で安心して暮らせる地域社会づくりのため、地域の協力を呼び掛けました。それに対して山内市長は、「これからも、地域が明るい社会であること願い様々な活動を展開してほしい。」とエールを送りました。

山内市長からエールを送られる一日保護司（前列右から３人）

広報リポーターの突撃取材！

土砂災害から命を守る

スライドによる説明を聞く参加者

７月17日、「土砂災害防止法に基づく基礎調査結果及び警戒区域指定に係わる説明会」が宇部町で開催。映像などで土砂災害の説明を受け、「自分の命は自分で守る」「早めの避難」の言葉に参加者はうなづいていました。（小倉利之リポーター）

海上保安官が夏井に来た

「うみまるくん」を囲み、一斉に敬礼する夏井小児童

海上保安官５人が、７月17日夏井小学校の「放課後子ども教室」を訪れ、紙芝居や海浜事故防止のお話とクイズなどを行いました。最後に海上保安庁のマスコット「うみまるくん」が突然の登場。子どもたちは大喜びでした。（梅沢政隆リポーター）

ポニーの背中で大満足

保育園児が乗馬体験

乗馬とアニマルセラピーを考える会（渡邉史朗代表）は、５月から７月の間、県内の被災児童などが通う保育園を訪問し、ふれあい乗馬体験を行いました。７月11日には久喜保育園の園児がポニー馬車の乗車と乗馬を体験。園児たちは目を輝かせながらポニーの背中に乗って大満足の様子でした。

ポニーにまたがり笑顔の園児

今日一番の大きなカニだよ

ずぶ濡れになり磯を満喫

小袖小が磯体験学習

７月２日、小袖小学校（小澤眞由美校長）は、磯体験学習を行いました。この日は児童35人が三崎漁港そばの海岸で、貝やカニなどを採取しました。昨年は東日本大震災の影響で海に入ることがなかった児童たちは、全身ずぶ濡れになりながら、久々の浜辺を満喫している様子でした。

鎮魂と慰霊の思い込め

ＪＣ公園に津波襲来の碑建立

６月29日、長内町の諏訪下ＪＣ公園内で、「津波襲来の碑」建立除幕式が行われました。碑は久慈ロータリークラブが、東日本大震災犠牲者の鎮魂と慰霊のため建立したもの。除幕を行った同クラブの小野寺傳会長は「大震災を風化させることなく後世に伝えていきたい」と思いを込めました。

碑は太平洋を望む公園内に建立されました